

第3章－4 地域の現状や課題の把握をしたい

ツール名

RESAS：地域経済分析システム（経済産業省、内閣官房）

特徴

地域経済の現状把握に役立つ官民の多種多様な統計データが集約されており、簡単な操作で統計データをグラフや地図などの分かりやすい形で可視化することができる。

- ・データの裏付けをもとにした対象地域の強み、課題が様々な観点から、直感的に把握できる。
- ・地域の強みを生かす取り組みや課題解決に結びつける材料を得ることができる。

トップページ

RESAS 掲載分野一覧

カテゴリ	分析項目
マーケティング	生活用品消費分析、生産・消費地分析、滞留人口メッシュ分析、通過人口メッシュ分析、事業所リッチ分析、将来人口メッシュ分析
観光	観光地分析、宿泊者分析、国内観光消費分析、インバウンド消費分析
人口	人口構成分析、人口増減分析、自然増減分析、社会増減分析、新卒者就職・進学分析、通勤通学人口分析、将来人口推計分析、地域人口メッシュ分析
産業構造	産業構造分析、製造品出荷額分析、経営環境分析、中小企業経営分析
地域経済循環	地域経済循環分析、生産分析、分配分析、支出分析、影響力感応度分析
農林業漁業	農業経営体分析、林業経営体分析、海面漁業経営体分析、内水面漁業経営体分析、湖沼漁業経営体分析、冷凍・冷蔵工場分析、水産加工工場分析
医療・介護	医療受給分析、介護受給分析

主な機能

官民の各種統計データが簡単な操作で地図、グラフ等により可視化できる。

例えば

新潟市の産業構造を表示する。
(産業構造⇒産業構造分析)

<従業者数（企業単位）大分類（新潟市）>

…従業者数の各産業の全産業に占める割合がグラフで表現されている。



- ① 「表示レベルを設定する」の項目と、指定地域を切り替えることで、全国のデータ、他都道府県のデータ、市町村のデータと切り替えることができる。(※各分野共通)
- ② 「表示内容を設定する」の項目を切り替えることで、様々な観点で産業の構成比をみることができる。(上記例では、企業数・従業者数・付加価値額・事業所数など)
- ③ 「比較地域を追加する」の項目で、他都道府県（他市町村）を選択して追加することで、他地域のデータと容易に比較することができる。
- ④ 「合算地域を追加する」の項目で、他都道府県（他市町村）を選択して追加することで、複数地域のデータを一体的にみることができる。

活用例

産業振興のための現状把握

- ・表示内容を切り替え、企業数、従業者数、付加価値額などといった様々な観点から各産業の構成比をみる。
 - ・全国のデータ、他地域のデータと比較する。
- ⇒地域の産業の強み（伸ばす分野）の特定や、支援が必要な分野の特定の材料とする
- ※他参考項目例：地域経済循環→生産分析